

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 2月 15日

職員数 6人

事業所名 発達支援ルームつむぎ

| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|--|---|----|---------------------------|--|--|
| 環境・体制整備 | 1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | 3 | 3 | 利用人数が多い日は、外での活動等も組み合わせている。 | |
| | 2 職員の配置数は適切である | 0 | 6 | 利用者の増加等により、曜日によっては送迎等工夫している。 | 児童発達支援に人数が多く必要とされる曜日がある。 |
| | 3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている | 4 | 2 | 天気の良い日には外出支援も行っている。 | 限られた空間のため、児童の状況、活動内容によっては仕切られたスペースが欲しいときがある。 |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている | 5 | 1 | 折り畳みの小さい机も使い、場所を考ながら配置している。 | 今年度はコロナ禍、消毒、換気、密にならないよう特に注意してきた。 |
| 業務改善 | 5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している | 5 | 1 | | |
| | 6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | 6 | 0 | できる内容から少しずつ業務改善に繋げている。 | |
| | 7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している | 6 | 0 | ホームページで公開している。 | |
| | 8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | 1 | 5 | | 現在外部評価については難しく行えていない。 |
| | 9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | 5 | 1 | 事業所内研修や、コロナ禍でも行える内容には取り組んだ。 | 令和2年度は、コロナの影響のため、予定の外部研修については中止になることが多かった。 |
| 適切な支援の提供 | 10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している | 6 | 0 | 定期的にモニタリングもを行い、支援計画を作成している。 | |
| | 11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している | 6 | 0 | 使用している。 | |
| | 12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている | 5 | 1 | 個々の児童の発達や、保護者の希望等を良く理解し、児童発達支援計画を作成している。 | |
| | 13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている | 6 | 0 | 行っている。 | |
| | 14 活動プログラムの立案をチームで行っている | 6 | 0 | 毎月行事等立案し、行っている。 | |
| | 15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | 6 | 0 | | |
| | 16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成している | 6 | 0 | | 曜日により、また個々の課題によって、集団活動になりやすく、個別活動が主になっている。 |
| | 17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | 6 | 0 | 朝礼時には、毎回「申し送り」にて確認をしている。 | |
| | 18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | 6 | 0 | 支援終了後、若しくは翌日朝礼時には「申し送り」として、休みの職員も含め共有している。 | |
| | 19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | 6 | 0 | 毎日、児童ごとの支援内容の記録簿をつけ、職員間でも共有している。 | |
| 20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している | 6 | 0 | 半年ごとにモニタリングを行い、見直しを行っている。 | | |

| | | | | | | |
|--------------|---|--|---|---|--|---|
| 関係機関や保護者との連携 | 21 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | 5 | 1 | 主に管理者が出席している。 | |
| | 22 | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている | 4 | 2 | 児童発達支援においては、母子保健関係機関が窓口となっている児童も多く、連携できている。 | |
| | 23 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている | 2 | 4 | | 現在、医療的ケアが必要なお子様は受け入れていない。 |
| | 24 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている | 2 | 4 | | 現在、医療的ケアが必要なお子様は受け入れていない。 |
| | 25 | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | 4 | 2 | | 在籍している園とは送迎時(迎え)に先生とその日の様子を確認するだけになり、支援内容等の情報共有と相互理解までは少し難しい。 |
| | 26 | 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | 3 | 3 | | 移行支援としての位置づけとしては、情報共有はできていない。 |
| | 27 | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | 3 | 3 | 相談支援事業所を兼ねているセンターもあり、助言等は受けている。 | |
| | 28 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある | 1 | 5 | | 現在は一緒に交流するのは難しい。職員が行事等の見学ができるようにはしたい。 |
| | 29 | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加している | 1 | 5 | | 自立支援関係の研修が少ないように思われる。機会があれば積極的に参加したい。 |
| | 30 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | 6 | 0 | 送迎時には、その日の児童の様子を伝え、気になる時には家庭の様子も聞き取っている。 | |
| 31 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている | 2 | 4 | | ペアレント・トレーニングについての研修は少なく、知識と経験が要求される。研修がある場合は参加したい。 | |
| 保護者への説明責任等 | 32 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | 6 | 0 | 契約時には丁寧に説明をしている。 | |
| | 33 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている | 6 | 0 | 保護者に説明の上、同意を得ている。 | |
| | 34 | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | 5 | 1 | 必要に応じて面談等を行っている。 | |
| | 35 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | 5 | 1 | 個々には対応し、できるだけ保護者同士の連携に繋げている。 | 今年度は、コロナのため保護者会については中止した。 |
| | 36 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している | 6 | 0 | 迅速に対応するよう心掛けている。 | |
| | 37 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | 6 | 0 | 毎月「つむぎっこ」を発行し、保護者に向けて発信している。 | |
| | 38 | 個人情報の取扱いに十分注意している | 6 | 0 | 注意している。 | |
| | 39 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | 6 | 0 | 言葉がけ等注意している。 | |
| | 40 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | 2 | 4 | | 例年は「夏祭り」を開催し、地域交流を図っていたが、コロナのため今回は中止した。 |

| | | | | | | |
|---------|----|--|---|---|---|---|
| 非常時等の対応 | 41 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している | 6 | 0 | | 防犯マニュアルについては、研修後急遽作成したので、これから周知するよう努める。 |
| | 42 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | 6 | 0 | 毎月何らかの避難訓練は行っている。 | |
| | 43 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している | 6 | 0 | 契約時に保護者から聞き取りはしている。 | |
| | 44 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | 4 | 2 | 保護者から、アレルギーの有無については確認をとっている。 | |
| | 45 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | 6 | 0 | | |
| | 46 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 4 | 2 | | 社内研修は行っているが、もう少し知識を深めたいと思う。 |
| | 47 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している | 2 | 4 | 身体拘束については、契約時に説明を行っている。実際に身体拘束を行うことはない。 | |

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。